



# 山ろうだより

山形県立山形聾学校  
R 8 第4号  
令和8年6月26日

初夏の風が心地よく感じられる季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今月から、子どもたちが楽しみにしているプール活動が始まりました。安全面に細心の注意を払いながら、楽しく水に親しめるよう指導を進めてまいります。プールカードの記入等へのご協力をよろしくお願いいたします。

また、これからは気温・湿度が上がり、熱中症になりやすい時期を迎えます。学校ではこまめな水分補給や休憩など熱中症対策に万全を期してまいります。ご家庭でも、登校前の健康観察や、規則正しい生活リズムによる体調管理に、引き続きご協力をお願いいたします。

## \*\*安全対策\*\*

### 不審者及びクマ対策を進めています

寄宿舍一階の玄関口や掃き出し窓が素ガラス(又は網入りの飛散防止のガラス戸)でした。夜間に室内を明るくすると食堂内が見えていました。そこで、ガラス面下部に乳白色のシートを貼り、クマの進入を防いだり、姿の映り込みが低減されたりするように対策を講じました。今後、一階の戸口について順次対応予定です。

また、校内職員研修として、不審者対応研修を6月16日(火)に実施しました。校舎内の安全対策について再確認したり、万が一の対応をイメージしたりしながら「学校安全マニュアル」の読み合わせを行いました。



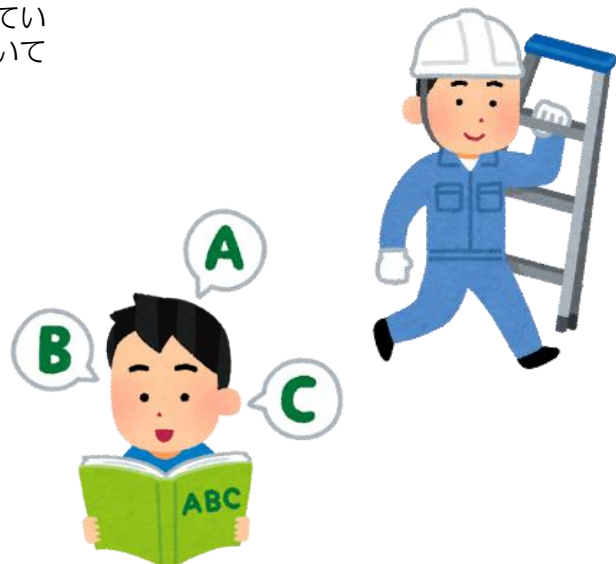
## \*\*職員紹介\*\*

- ◎ 5月下旬より、新しく技能員1名が勤務しています。校舎内外の整備に取り組んでいただいています。

わたなべ  
渡邊さん(新規採用)

- ◎ ALTの先生が来校し、外国語活動などの授業で、幼児児童生徒と活動しています。

Maya 先生



## \*\*99周年 創立記念式・縦割り活動(花植え活動)\*\*

### 令和八年度 創立記念式典 校長式辞

本日、山形聾学校創立記念式を迎えることができたこと、また、ご来賓であります PTA 会長、同窓会会長と共に創立記念を祝うことができたことを大変嬉しく思っています。

本校は、昭和二年七月八日に創立され、今年で九十九周年を迎えました。この九十九年の間に、社会は大きく変化しました。特に ICT 関連の発達は目まぐるしく、人と人とのつながり方は変わり、情報を得る方法も大きく変わりました。また、聞こえにくい人たちを取り巻く環境も、手話への理解や情報保障の充実など、一步ずつ着実に前に進んできました。今、この瞬間も時代は動いており、これから先の百年も、私たちの想像を超えるような社会に変化していくことと思います。

しかし、そのような中でも変わらないものがあります。それは、一人一人が豊かな言葉を身に付け、自立の力を育み、自分らしく社会参加をしていくことの喜びです。本校の教育目標「豊かな言葉と自立の力を育む」にはそのような願いが込められています。

さて、代表委員会を中心にみなさんで考えた今年度のスローガンは「新しい自分へ、一步ずつチャレンジ」です。とてもすばらしいスローガンであり、私もこの言葉に支えられています。

変化の大きい時代だからこそ、誰かの指示を待つのではなく、自らチャレンジすることが大切です。近頃は「コスバ」や「タイパ」などの言葉があり、これも大切なことですが、それでも一步ずつの積み重ねが、間違いなく自分自身を成長させるのだと思います。新しいことにチャレンジするには勇気があることですが、ここには受け止め支えてくれる仲間がいます。安心してチャレンジしてください。

山形聾学校の九十九周年の歴史も、多くの先輩方が一步ずつのチャレンジを積み重ねてきた歴史です。そして、来年はいよいよ創立百周年を迎えます。昨年の九十八周年では、みんなが九十八冊以上の本を読みました。今年の九十九周年では、みんなが九十九個以上のチャレンジをしてほしいと思います。そして、来年の創立百周年では、みんなが山形聾学校の良いところや魅力を百個以上みつけていきましょう。

皆さんには「新しい自分へ、一步ずつチャレンジ」というスローガンを大切にしながら、自分自身の未来を切り開くとともに、山形聾学校の新しい歴史を創ってほしいと思います。

創立九十九周年という記念の日にあたり、本校を一步ずつ築き上げた先輩方に感謝するとともに、私も含めたここにいる皆さん一人一人の「新しい自分」にワクワクしながら、前を向いて一步ずつチャレンジしていきましょう。



## 令和8年度 創立記念式典 幼児児童生徒代表挨拶

山形聾学校創立99周年、誠におめでとうございます。私は、この学校で17年間過ごしています。これまで過ごした中で私が感じている山形聾学校の良さは、たくさんありますが、特に良いと感じていることが2つあります。

1つ目は、授業が分かりやすいことです。先生方は、私たちが理解できるまで繰り返し丁寧に説明して下さいます。さらに図や写真を使うなど、聞こえに配慮した授業を考えて下さいます。そのおかげで、分からないことや困った時にすぐに質問できる安心感をもって学校生活を送ることができています。

2つ目は、全校生徒の結び付きが強いことです。人数は少ないですが、縦割り活動や交流を通して幼稚部から高等部までお互いに助け合っています。また、幼稚部から高等部まで幅広い年齢の人が関わるができる行事も、山形聾学校の魅力です。例えば、各学部と協力して競技を楽しみ、仲間への応援を行うスポーツ祭、ステージ発表を通して、他学部がそれぞれ学習した内容を知ることができる山聾祭。

そして、高等部では就業体験があり、働くことの厳しさを知るための貴重な機会となっています。山形聾学校だからこそ、困ったときに必要な支援を依頼する方法を学んだり、社会人に必要な知識や力を身につけたりすることができます。

来年は100周年を迎えます。私はもう卒業ですが、後輩の皆さんには、仲間や先生方と一緒に山形聾学校の歴史をこれからも作り続けてほしいと思います。

最後になりましたが、山形聾学校のこれからのますますのご発展を祈念して、代表の言葉といたします。(高等部普通科3年生徒)



創立記念式後の縦割り活動で、南山形地区の商工会から寄贈していただいた花苗をプランターに植える活動をしました。4つのグループで、幼稚部から高等部まで協力して取り組みました。生徒昇降口がとても華やかになりました。



■編集後記■ 7月は、学校評議員会(7/1)やPTA理事会(7/17)の予定があります。地域や保護者の方からのご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。ご意見などありましたら学校までご連絡ください。(文責: 笹原)